3 第2回世界海上保安機関長官級会合を開催

→史上最大!7つの海と五大陸から84の海上保安機関の代表が集結
→



第2回世界海上保安機関長官級会合集合写真

令和元年(2019年)11月20日、21日の2日間にわたり、「第2回世界海上保安機関長官級会合」を海上保安庁と日本財団で共催しました。平成29年(2017年)の第1回世界海上保安機関長官級会合、平成30年(2018年)の第1回世界海上保安機関実務者会合に続いての開催で、75か国の海上保安機関の代表と海上保安に関する国際機関等の代表合わせて84の海上保安機関等の代表が出席し、議長は我が国の海上保安庁長官が務めました。

会合においては、

- ・海でつながる海上保安機関間の結束が極めて重要として、対話と連携・協力の 強化の場としての本会合の開催を評価し、会合運営ガイドラインを策定
- ・大規模な自然災害や薬物犯罪など国境を越える犯罪等、海上保安分野に係る地球規模の課題に対応できる人材の育成に向けた取組の着手に合意
- ・各国から多くの先進事例の共有が行われるとともに、今後参加者間で有益な情報を共有するための取組の着手に合意
- し、これらを内容とする議長総括を取りまとめました。

令和2年(2020年)には第2回世界海上保安機関実務者会合が東京で開催される予定です。



挨拶を行う安倍内閣総理大臣



本会合の様子